

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：チェンマイ大学（タイ王国）

Q. 今回の留学 プログラムの感想

現地の先生や医学生はとてもフレンドリーで、分け隔てなく接してくれました。自分自身タイ語は挨拶や自己紹介程度しかわからず、コミュニケーションに不安を覚えていましたが、実際には英語で問題なくやり取りすることができます。チェンマイ大学はとてもきれいで医学を学ぶにも良い場所でした。位置しているチェンマイ市もバンコクなどの大都市に比べれば比較的コンパクトであり、交通の便も良かったです。実習内容に関しても、カルテの主要部分やカンファレンス発表の大部分は英語であり理解可能でした。日本では根絶されている狂犬病のような疾患に対する水際策も目近で見ることができ貴重な経験をしました。

Q. 健康管理や 危機管理について

野犬には最大限の注意が必要だと思います。もちろん狂犬病が最大の理由ですが、そもそも咬傷や破傷風、細菌感染症も当然無視できません。視野の確保できない曲道や夜道は避けるのが吉です。バイクやタクシーを移動に使うのをお勧めします。

Q. 今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

タイというとインフラの整備を含めて発展途上というイメージを持つ人も少なくないと思います。確かに水道は飲めませんし、衛生環境に難がある場所もありますが、医療（救急）に関しては日本と同等以上と言えます。質の担保された医療をより幅広い疾患で学ぶことができますので、ぜひ一度はタイで臨床実習をすることをお勧めします。

Q. 留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと

タイ文字がまったく理解できず、勉強も断念したので語学が不安要素でした。結果的には国民全体で見ても英語を理解できる人の割合は高く、スマホでの翻訳もあるので大きな問題にはなりませんでした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：現地の医学生(5年)たちです！とても優しく気さくでした！！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：チェンマイ大学（タイ）

Q. 今回の留学 プログラムの感想

family medicineで二週間の実習を行った。日本よりも患者さんと医師の関係が濃密であることが最も印象的であった。先生方は全て英語で説明してくださり、とても親切だった。home visit では実際に患者さんの家を訪れ、話を聞く場面を直接見学することができた。また、医科歯科よりも common disease を扱っているのも、馴染み深い疾患に出会うことができたのも、とても良い経験である。タイの医療制度についての見識も深めることができた。

Q. 健康管理や 危機管理について

食中毒がとても怖かったので、気をつけていた。常にウェットティッシュを持ち歩き、こまめに消毒をした。水には特に気をつけた。また、野犬が多く、サイクリング中に襲われそうになった。人が少ない通りには気をつけるべき。

Q. 今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

チェンマイはバンコクに比べ気候もよく、のんびりした印象です。また、美味しいカフェが至る所にあり、リラックスしながら実習できると感じます。チェンマイ大学病院は地域の中でもトップクラスの病院なので、様々な疾患に出会うことができると感じます。また、日本での実習と異なり、医学生ができる手技も多いので、より実践的な実習ができると思います。留学生受け入れ態勢もかなり整っているのも、かなりおすすめです。

Q. 留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと

医療は全てタイ語で行われると聞いていたので、理解できるか不安であったが、先生方が丁寧に英語で説明してくださったので、全く問題なかった。気候と食中毒が不安だったが、全く問題なく過ごすことができた。

留学中のお気に入りの写真



コメント：Family Medicine 外来の前で

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：タイ/チェンマイ大学

Q.今回の留学 プログラムの感想	タイ王国チェンマイ大学病院にて産婦人科の外来や病棟業務を見学しました。タイは日本と比べ設備に乏しいため、エコーなどによる画像検査や血液検査はあまり行われておらず、もっぱら問診と身体診察が診療のほとんどを占めていました。また、日本の大学病院の妊婦健診で医学生や研修医が妊婦にタッチする機会はほとんどない一方、タイでは基本的に医学生や研修医がタッチしてレジデントの認可をもらって診療を終える場面がかなり多く、人手という面でも大きな違いを感じました。その他にも日本とタイで病気の発症率が異なるため、スクリーニング検査の内容など細かい医療の前提や疫学の違いについても肌身に感じることができました。	留学中のお気に入りの写真  コメント：
Q.健康管理や 危機管理について	毎日お腹を下していたため、QOLはかなり低かったです。また、初日から航空会社のせいでロストバゲージになったのは大変でした。中国系の航空会社を利用する際は十分な乗り継ぎ時間がないと荷物の積み替えが間に合わないことに注意しましょう。	
Q.今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ	タイ楽しかったです。チェンマイはバンコクとはかなり様子が異なっていて、地方中核都市の様相を呈しています。タイ北部の基幹病院であるため、ヘリなどで急患が運ばれてきたり、とんでもない数の外来を捌いていたりと、その割に設備は乏しかったりと、日本の医療との違いを体感するうえではかなり最適な場所だと感じました。	
Q.留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと	タイに行くのは始めてだったので、衛生面がかなり気がかりでした。生水は飲めないらしいというような情報を集めてから行きました。	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



：/派遣先（国名）：Princess Srisavangavadhana College of Medicine(タイ)

Q.今回の留学プログラムの感想	日本での生活とは違い、生活することが大変であり、序盤はホームシックになりましたが、最後には日本に帰りたくなりました。人生で初めての留学であり、主に英語力がとても不安でした。実際、タイで出会った学生や先生方は、ネイティブ並みに喋れる方が多く、話を聞くだけでも精一杯でしたが、皆さんが優しく僕が言いたいことを理解しようとしてくれたため、何とか会話を成立させることができました。事前に不安で苦手だった英語も、やや苦手意識がなくなったと思います。また医療の面では、日本と違い素早く手術が行われたり、治療法の違いとかも感じる事ができ、大変面白かったです。
Q.健康管理や危機管理について	特に水が日本と違い不衛生であるため、水道水は飲まない、生野菜は食べないなどかなり気を付けていましたが、滞在中ずっとお腹の調子は良くなかったです。また、辛いものもお腹に悪いため、なるべく避けていましたが、一回ランチで出されたガバオライスがとても辛く2日間ほどずっとお腹の調子が最悪でした。
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	初めての留学かつ英語力に不安がある僕でもなんとか2週間の留学を終えることができました。金銭面でも、生活面でも多くのサポートを受けることができ、ここまで守られた環境で留学できるのも人生で最後の機会だと思うので、ぜひ迷っているのであれば、留学に行くという選択をしてもらえばいいと思います。また、日本で実習するよりも、一個一個のことが思い出に残り、このような留学こそ学生時代にできないものだと思います。
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	英語力や生活面

留学中のお気に入りの写真

コメント：留学先の病院の写真です。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：短期留学/Princess Srisavangavadhana College of Medicine(タイ)

Q.今回の留学 プログラムの感想

もともと興味のある診療科でしたが、隙間を縫って逐一解説していただいたので、理解が深まると同時に興味も増しました。院内スタッフ全体の関係性が大変良好で、留学生の私にとっても居心地の良い雰囲気でした。休日や放課後には様々な場所へ出向き、人々の信仰を目の当たりにし、知らない料理に挑戦し舌鼓を打ち、美しい建造物たちに見とれetc、タイの文化を堪能しました。そして2週間を通じて、同クルの学生ともタイの人々とも数えきれないほど話しました。全体を通して、日本にいる時よりもかなり活動的に過ごしていたと感じます。限られた時間の中で様々なことに触れたいと思っていましたが、新しいことを発見できる毎日は充実しており、生涯残る大切な経験になりました。今回のプログラムに参加できて大変幸運でした！

Q.健康管理や 危機管理について

水道水は手洗い用にとどめ、飲み水や歯磨きはウォーターサーバーの水を使用しました。パスポート＋最低限の現金＋保険情報などを小さめのポシェットに入れて、服の内側で斜めがけて常に携帯しました。

Q.今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

想定外のことも起きましたが不自由を感じることはほとんどなく、現地の方々はとても親切に迎え入れてくださいました。渡航前のいろんな不安要素もなんとかありました。大丈夫です。タイで見聞きする様々なことに興味を持ち、周りの人と積極的にコミュニケーションをとりにいけば、2週間という短い期間の密度がより増していくと思います！留学に対するハードルを感じている方もいるかもしれませんが、就職後に比べると圧倒的に行きやすい環境が整っているので、ぜひ参加してみてください！！私もなんとなく申し込んだくらいでしたが、こんなに心に刻まれる経験になるとは思いませんでした。

Q.留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと

久々の海外渡航であり、すべてが不安でした。英語の会話力に自信がなかったこと、虫刺され、水回りの衛生環境、貴重品紛失・犬に噛まれるなど不測の事態への対応、辛いものとバクチャーが苦手なこと、循環器をローテしておらず雰囲気を知らないこと、など。

留学中のお気に入りの写真



コメント：お世話になった病院。ライトアップが美しいです。中もとっても綺麗です！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声

留学/派遣先（国名）：Chulabhorn Univerity（タイ）



Q.今回の留学プログラムの感想	どの先生もとても熱心に指導してくださり、非常に充実した実習を過ごすことができました。医科歯科の実習ではあまり見ることができないコモンな疾患の病棟管理について勉強させていただけた点もありがたかったです。また、タイでは4年生から臨床実習が始まり、6年生では当直でファーストタッチを担当するため、現地の学生のレベルが非常に高く、よい刺激を受けることができました。現地の学生との交流や観光を通してタイの文化について知ることができた点もとても楽しかったです。急遽派遣先が変更になり医科歯科・派遣先双方の担当者の方に多くのご負担をかけてしまいましたが、これから医師として様々な背景の方と関わっていくうえでどのようなスキルが必要か体感することができ、とても充実した2週間でした。
Q.健康管理や危機管理について	生野菜や氷による食中毒に注意する必要がありますが、現地の方と一緒に食事をする機会も多く予防策を100%実行することは難しいかもしれません。私自身は大きなトラブルなく過ごせましたが、多少の不調は受け入れる大らかさがあると気持ち的に楽かと思います。虫よけスプレーは必ず使用するようにはしていました。
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	タイは日本と似ている点・違う点どちらも多くあり、留学が初めての方でも楽しみつつ充実した時間を過ごすことができると思います。食べ物が美味しく、観光スポットも多く、そして何より現地の方の優しさに沢山触れることができました。また、王立大学ということで寮含め設備がとても充実していました。タイの多くの病院の実態とは異なるということですが、その点も含めてぜひ現地の方からお話を伺いつつ多くの貴重な経験をしてください！
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	初めての派遣先だったため事前の情報がなかったこと、タイは治安が良くないと聞いていたこと、雨季への移行期のため暑さやスコールが予想されたこと、バンコク中心地から遠いこと、など不安でした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：実習最終日にお揃いのTシャツをいただきました！2週間本当に楽しかったです！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：チュロンコーン大学病院（タイ）

Q. 今回の留学プログラムの感想	タイの感染症内科ということで日本との違いがあるのかという点に最も興味があったが、実際にタイでは結核が流行しており、チュロンコーン大学病院にも結核外来があることには驚いた。結核外来では診察室が全て陰圧室となっており、換気のための空調がしっかりと整備されていた。また、結核以外では豚レンサ球菌が一部豚を生食する人々の間で流行している点も興味深かった。病名や薬剤名が英語であるうえ、略称も多い（例：ニューモシスチス肺炎：PCP）ことからはじめは戸惑うことが多かったが、どの先生も優しく教えてくださるため、非常に有意義な実習になった。
Q. 健康管理や危機管理について	デング熱に備えて、蚊にだけは刺されないように虫除けはしっかり塗った。また、狂犬病が懸念されるため犬・猫は見かけても触れなかった。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	どの病院でも、どの診療科でも、これまでの病院実習とは違った新たな刺激になることは間違いありません！もし興味がある診療科があるなら、海外ではどんな患者が多くて、どんな診療が行われているか、その目で確認することが自身の視野を広げるためには大切です。2週間という短い期間ですが、存分に生かして充実した短期留学にしてください。
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	渡航前にワクチンを打ちにいく手間が大変だった。中には期間を空けて複数回接種する必要があるものもあり、実際にA型肝炎ワクチンのブースター接種は実習に間に合わなかった。トラベルクリニックの予約はなるべく早めがお勧めです。

留学中のお気に入りの写真



コメント：カオサン通りで見つけたちょっと怖い دونالد。夢に出てきそう？笑

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：チュラロンコーン大学（タイ）

Q. 今回の留学 プログラムの感想

今回の留学は想像以上に実りのある経験で、応募して良かったと心から思っています。医学に関しては率直に言うとは日本と変わりませんでしたが、一方でバンコクの中で2週間大学に通いながら生き抜くというのはかなりフレッシュな体験でした。日本だとわからないことがあっても調べたり聞いたりできますが、タイの人は英語が通じないことも多く、人生観や生活常識もこちらと大きく違うので常に分からないものが周りに溢れていました。でもきっと、これからの人生を考えたときに、分からないものの中で何とか生き抜くという経験は必ず訪れるはず。そのための勇気や無謀さは常に守られる立場に置かれている国内での学生生活で忘れてしまったものだったので、とても勉強になりました。

Q. 健康管理や 危機管理について

バンコクはびっくりするくらい治安が良かったです。健康面に関しては、屋台の生の料理や水道水は避けていましたが、普通の屋台くらいなら大丈夫でした。外気温とエアコンの効いている建物内との寒暖差が非常に激しいので少し風邪をひきました。

Q. 今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

まずタイの留学に関して言えるのは、楽しいです。勿論留学の中で困惑する場面も何回かはありましたが、それらを忘れてしまうくらい楽しかったです。また、一つアドバイスをするなら、楽しむためにはドメスティックになりすぎないことです。屋台の食べ物やバイクタクシー、水掛け祭りなど、日本とあまりに違う文化は最初は自分も怖かったです。2週間の中で段々と一つずつ出来ることが増えていきました。たったの2週間という機会でしたが、日本でのんびり過ごすのでは考えられないほど成長できて、楽しかったです。日本に帰ってきてからもなんとなく自分の振る舞い方に胸を張れるようになった気がします。

Q. 留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと

現地の大学の人のやり取りは不安でしたが、実際に会ってみるととても学生思いで優しい方でした。タイの衛生や治安も心配でしたがバンコクに関しては日本と比べても遜色ないくらい良いです。

留学中のお気に入りの写真



コメント：ソングラン中のドローンショーです。みんなびしょ濡れです。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：チュラロンコーン大学（タイ）

Q. 今回の留学プログラムの感想	総合診療科にて実習し、毎日チームの先生方と5回ぐらい回診していました。(回数多い!) 回診中、全教員は英語で少しずつ症例や検討内容について説明をしてもらって、ありがたかったです。タイの授業スライドはすべて英語で、現地生徒の医学英語力にはとても及ばず、日本ではいい意味でも・悪い意味でも日本語に恵まれた環境で医学を勉強したことに気づきました。今後は更に視野を広げ、世界中の医療現場から勉強したいという考えは、今回の実習を通して改めて確信しました。同じく6年生の学生が豊富な知識のみならず、ワクチン接種、ドレナージ、尿管カテーテルなどの手技もこなした場面を目にして、大変モチベーションになりました。これからも頑張りたいと思います。
Q. 健康管理や危機管理について	去年タイ留学の先輩が猫に絡まれたこともあり、また寮の近くに猫が常在していましたので、滞在中は常に帰り道に猫に絡まれないよう注意しましたが、とある夜猫が目の前にダッシュして、ヒヤッとしました。狂犬病ワクチンは打っておいたほうが絶対安心ですね。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	迷っていたら応募すべきだと思います。タイ最難関大学の附属病院では、その国の中で最も難治的症例や、珍しい症例が集まりますし、タイの最先端治療にも立ち会える機会があります。またスタッフも、学生もみんな学力とモチベーションに富んだ人たちで、快適かつ刺激的な環境で実習できます。新しい知見は必ずあると思いますので、医科歯科と違う風景をぜひ一度見てみてください！
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前など大変や不安だったこと	寮に入居できるかどうかの連絡が渡航1ヶ月前にもなく、ホテルの予約などの事情もあり、自分から問い合わせしたら入居できるとのことでした。困ったら積極的に向こうと連絡を取りましょう！

留学中のお気に入りの写真



コメント：夜のワットアルン、感動しない人はいない

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：チェンマイ大学（タイ）

Q. 今回の留学 プログラムの感想

チェンマイ大学のDiagnostic/Interventional Radiologyでの臨床実習では、さまざまな画像診断技術や治療法に触れる機会がありました。特に、超音波ガイド下の手技など、既存の技術を駆使した治療法を学ぶことができました。各症例に対する診断プロセスや治療の選択についてのattendingからの直接指導も非常に充実しており、深い知識を得ることができました。自身の変化としては異なる医療システムや文化の中で学ぶことで、柔軟な考え方や適応力が養われました。また、英語を中心としたコミュニケーション能力が向上し、タイ語も少し学ぶことで現地の人々との交流がより深まったと感じています。

Q. 健康管理や 危機管理について

健康・危機管理でヒヤットすることは基本的にありませんでした。ただ4月はタイの一年の中では最も暑い時期で日中に外を歩くことはほぼ不可能でした。大学でも空調管理がされていない場所があるので、水分補給や適度な休みとすることが大事でした。

Q. 今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

どこの大学に行った場合もそうですが自分から積極的に質問をしたり、カンファレンスで意見を述べたりすることが非常に重要です。遠慮せずに、どんどん学びたいことを探求してください。そのためには英語でのコミュニケーションは必須です。医療用語や専門的なディスカッションを理解し、自分の意見を英語で表現する力を事前に鍛えておくと、現地での学びが格段に深まります。また、日常会話も大切なので、普段から英語に触れる機会を増やしましょう。

Q. 留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと

医科歯科と提携しているため、受入体制は整っていて連絡はスムーズに行えた。ただ放射線科にはあまり他大学からの学生が見学に行くことは少ないのとチェンマイ大学の学生もほとんどいなかったため、学生と交流を深めることはあまりできなかった。

留学中のお気に入りの写真



コメント：放射線科のメンバーでタイにおける新年（ソングラーン）行事

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声

留学/派遣先（国名）：マヒドン大学ラマチボディ病院（タイ）



Q.今回の留学プログラムの感想	タイの先生は英語が流暢な人も多いので、タイ語で話されていたことを英語に翻訳してくれます。英語を使う機会は多いので、実践という意味で良かったです。また、医学的にも日本の病院と良いところも悪いところも異なる点が様々あり、興味深かったです。特に、マヒドン大学は移植を多数行っており、それに関連した患者さんを多数見ることができました。タイの先生方は優しい先生が多いと思います。タイは仏教文化で礼儀正しい人が多く、心地の良い国でした。日本食とは違うがおいしい食生活に触れました。
Q.健康管理や危機管理について	はじめ、胃腸の心配はかなりしていた。生魚などは食べないようにして、水もペットボトル以外からはとらないようにしていた。シャワーや歯磨きでも水道水は絶対飲まなかった。安全そうな店では氷もたべていたが、乾季なのもあり問題なかった。
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	タイはとても素晴らしい国で、食文化や雰囲気が日本人にあっており、行くだけで楽しかったです。特に、旅行だと予定が爪詰めになってしまうところが、留学ですむことができると、土地や人との距離感が近くなり、文化をより楽しむことができました。また、医学分野でも日本との相違点が多くあり、また、発展している点もあるため、興味を持てると思います。
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	タイ語が使えないこと、寮の衛生面、食事が口に合うかどうか。



コメント：メークロン市場で見られる歩道すれすれを通る国鉄

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：マヒドン大学ラマチボディ病院(タイ)

Q.今回の留学プログラムの感想	community medicineのhealth care systemではタイの医療制度や予防医学、公衆衛生について学ぶことができる。1週目はクルズスが多く、2週目は病院から徒歩10分のプライマリケアユニットに派遣された。プライマリケアユニットでは生活保護の方や貧しい方の傷の処置を見学させて頂いた。訪問診療ではとてもリアルなタイの生活に触れることができた。実習が終わった後の平日や休日を使って寺院や近くの観光地に出かけたり、買い物を楽しんだりできた。タイの文化に触れることができ、とても充実した2週間を過ごすことができた。タイの人たちは本当に優しく、物価も安いし食事も美味しいしとても良い国だった。さまざまなことに挑戦しようという姿勢を身につけることができた。
Q.健康管理や危機管理について	野良犬や野良猫が多いので噛まれないように注意した。治安は悪くないが、夜はみんなと行動した方が良いかも。安いのでバイクタクシーを使ったがヘルメットなしの二人乗りなので危険を感じた。多少高くてもタクシーの方が安心。
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	community medicine(特にhealth care system)は希望すればウムバーンという秘境の病院に2週間行くことができる。バンコクから車で片道10時間でおそらく電波も通っていないので私は断ってしまったが、興味のある人はぜひ。4月の前半は祝日が多く非常に楽しめる。チュラロンコン大学の2人とも合流できたので6人で観光することができ本当に楽しかった。実習も午前で終わるなどあまり大変ではないので体を楽しみたい人はぜひ！ラマチボディ病院はバンコクの都心部にとても近いので遊ぶ場所にも困らない！
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前など大変や不安だったこと	寮が汚いとのことだったので不安だったが、生活するのには困らないレベルだった。友達ががいれば乗り切ることができる。水や食べ物でお腹を壊すと思っていたが、ペットボトルの水を飲むなど工夫していれば大丈夫だった。辛いものが多いと思っていたがそうでないものも意外とある。

留学中のお気に入りの写真



コメント：寺院にて。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：マヒドン大学ラマチボディ病院（タイ）

Q. 今回の留学プログラムの感想	海外での1週間以上の滞在の経験もなかった自分にとって、今回の留学はとても貴重な経験になりました。異国の地で2週間を過ごすのも最初は不安でしたが、実際に行ってみるととても楽しく、留学が終わるころにはもう少し滞在していたと思うほどでした。現地の先生方も非常に親切で、留学生の自分と積極的にコミュニケーションを取ろうとくださり、自分のためにタイ語でのレクチャーを英語に変更して下さる等、学びの多い実習になるよう工夫してくださっていました。また、今回の留学はある程度日本で病院実習をしたうえで行ったので、他国の医療を日本の場合と比較しながら学ぶことができたのも興味深かったです。医療だけでなく、他国の文化などについても学ぶことができ、非常に有意義な経験となりました。
Q. 健康管理や危機管理について	食べ物には注意していました。生ものはほとんど口にしないようにしていました。また、水道水を口に入れないようには気を付けていて、歯磨きも水道水を使わずにミネラルウォーターを使っていました（ペットボトルの水も安いので）。そのかいあってかほとんどおなかを壊さずにすみました。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	タイの方々は皆さんとても親切で、先生方もいろいろと教えてくださるので非常に有意義な海外実習になるかと思います。海外での生活が不安な方でも、医科歯科の同級生と一緒にいき、互いに助け合いながら過ごすことができるので、少しでも留学を経験してみたいと考えている方にとっては絶好の派遣先だと思います。
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	提出書類が少し多く、大変でした。特にビザの取得については、なかなか大使館自体の予約をとることができず少し焦りました。また、寮などの現地の施設の情報もほとんど得られなかったのは不安でした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：最終日同期と行ったルーフトップバーでの写真

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：国立台湾大学（台湾）

Q.今回の留学プログラムの感想	小児科で2週間実習に参加した。国立台湾大学は小児科・産婦人科で独立した病院をもっていて、かなり力を入れているのが感じられた。先生方は忙しいがとても優しく、聴診やエコーの所見を教えてください、また実際にやらせてくれることも多かった。小児科の中でGeneral pediatricsとInfantを回ったが（初日に希望するグループを選べる）、特にInfantでは貴重な先天性心疾患を多く見ることができ大変勉強になった。日本との大きな違いとしてカルテを記載するPCでネットに繋ぐことができたり、回診中にタブレットでカルテを確認することができたりする点が効率的だと感じた。また台湾の先生方は基本的に英語が流暢で、カルテも英語で記載していることも大変印象的だった。疾患に関してなど英語で説明してくれるが、医学英語が分からない場合でも絵や文字に書いて伝えてくれるなど優しい先生方ばかりでとても過ごしやすい。今後機会があれば、また旅行や留学をしたいと思う。	留学中のお気に入りの写真 コメント：豆花が大好きで、留学中何度も食べました！
Q.健康管理や危機管理について	地下鉄で飲み物を飲むと高い罰金が請求される。 台湾は運転マナーがあまり良くないので、横断歩道を渡る時は注意が必要。	
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	台湾は親切な人が多く、留学先としてとても良い国だと思います。国立台湾大学は小児産婦がとても強く、独立した大きな病院を持っているので特に小児科・産婦人科志望の人にはおすすめです。先生方は皆さん英語が流暢で、中には日本語を話せる先生や学生もいます。ただ、先生方は気遣ってくれるというよりは声を掛けると助けてくれる感じなので、困ったことや分からないことがあれば積極的に質問することが大切です。台湾は食事もおいしく人も優しいので、あまり心配せず行ってみると良いと思います。	
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前など大変なこと	英語、特に医学に関する英単語に自信がなく不安だった。 大学側から短期留学決定のメールは来たが、それに対して返信や質問を送っても返事は一切なかった。	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：国立台湾大学（台湾）

Q.今回の留学プログラムの感想	当初想定していたよりも実りのある良い実習だった。腎臓内科では日本では普及していない腹膜透析に力を入れており、カテーテル手術や透析の流れ、患者教育の工夫や合併症対策について現場で学ぶことができた。また、日本の腎臓内科ではあまり見ることができなかったNephritic disease（ANCAなど）についても実習で担当し、先生方との議論を通じて理解を深めることができた。
Q.健康管理や危機管理について	台北市内は治安はよい。衛生環境もちゃんとしたホテルを取れば問題なし。必須のワクチン接種項目も特になし。気候は日本と大きく違うため注意が必要。4月でも連日熱帯夜で、着るものに注意しないと体調を壊すと感じた。
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	おそらくあらゆる留学先の中で一番ハードルの低い国だと思う。現地の学生や教授は英語を話せ、カルテもすべて英語、公共施設や交通、観光地も英語や日本語が通じるところがほとんど。特に事前準備は必要なく、強いて言うなら医学英語を復習しておくとか現地の先生や学生とのDiscussionの際に困らない程度。（ただ、当然問診はすべて中国語、カンファレンスも中国語のため、中国語が理解できるとより実りのある実習になると思う。）疾患としては一般的に日本で見るようなものがほとんどだが、医療制度や保険のシステムは大きく違い、入院患者数や治療方針には大きな違いがある。そういった違いに着目し、先生や学生と議論しながら実習すると面白いと思う。入国カードは事前にオンライン申請できるのでやっておくべき。（今後はどうなるか不明）
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	台湾は特に入国に際してビザを取得する必要もなく、事前準備もほとんど必要なかったため、大変なことはなかった。渡航前は言語や意思疎通の面で少し不安であったが、結果的に英語や日本語でなんとかなったため、困ることはなかった。



コメント：九份にて、アジア一美しいといわれる黄昏の街並みを背景に撮った台湾

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：国立台湾大学（台湾）

留学中のお気に入りの写真



コメント：病院のすぐ近くの公園の写真です。毎日ここを歩いて病院に向かってました！

Q.今回の留学プログラムの感想

初めての海外留学かつfamily medicineという具体的なイメージがわきづらい科を選んだため、不安な点が多かったが他の留学生や研修医の先生方が手厚くフォローしてくださったため、特に困ることなく安心して実習に参加できた。
私は中国語が分からないため基本的に外来にはいかず病棟中心で実習を行っていたが、そこでも老年医学と緩和ケアの2種類の病棟があり、それぞれの回診やカンファに参加することができた。せん妄に対する薬物治療といった一般的なテーマについて学んだ他、緩和ケア病棟における患者さんへの精神的なフォローとして宗教による励ましであったり、家族関係に問題がある場合に積極的に介入していったりなどfamily medicineならではの特殊なケアが見られてとても興味深かった。

Q.健康管理や危機管理について

慣れない環境・食事で頭痛・腹痛などを起こすことがあったので常備薬は多めに持っておくとよい。
気温が高く日差しも強いので、日傘や水筒を携帯して熱中症対策をした。
貴重品はホテルの金庫に入れるか携帯するかしていた。

Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ

台湾は治安もよく食事もおいしく、海外留学が不安な人にとっては最適な国だと思います。皆さん優しく、英語で話せる方も多いので積極的に話しかけて交流するとより楽しめると思います。留学生には台湾を楽しんでほしいと観光する場所やおいしいごはんをたくさん教えてください。中国語がある程度できるとより見学できる幅が増えたり意思疎通が簡単になったりするので少しでも勉強することをおすすめします。

Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと

英語の会話力に自信がなかった。
寮が提供されていなかったため、ホテル探しが大変だった。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：国立台湾大学

Q.今回の留学プログラムの感想	2週間という短い期間でしたが、海外の医療の実態を知るだけでなく、海外の医学生の日常にも触れることができ、貴重な経験となりました。また、国立台湾大学は台湾内で最大規模の病院である一方で紹介状いらずで受診できることから、多種多様な疾患・背景を持っている患者が集まっており、色々な面で勉強になりました。整形外科での実習は、朝ごはん付きの朝カンファから始まり、昼ごはん付きの手術見学や外来見学、医学生との交流と充実したものでした。朝カンファや学生発表のスライドは全て英語で、先生方の議論も英語で行われることもありました。語学力の高さ・コミュニケーション能力の高さを感じ、自分も積極的にこれらを身につけていかなければと思うようになりました。
Q.健康管理や危機管理について	ホテルを出る際はすぐ戻る場合であってもスーツケースを閉じてロックをかけていました。また、貴重品は手術室に入る場合もポケットにに入れて持ち歩いていました。更衣室のロッカーは鍵がないので、盗られて困るものは何も置かないようにしていました。
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	国立台湾大学の先生方や学生は非常に優しく、困ったらなんでも親身になって助けてくれます。見たい手術はなんでも入って良いと言われ、入室するとトップの先生が丁寧に英語で術式の解説をしてくれました。実習後にご飯に連れて行ってくれる日もあります！また、大学病院の立地が素晴らしく、実習終わりに観光するのにぴったりです。手術見学をしていると、先生方に「こんな良い日に君はなぜずっと手術室にいるんだー」と半ば追い出されながら昼過ぎから先生方おすすめの観光スポットに行くこともありました。総じて最高の留学先だと思います。心の底からお勧めします。
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前など到大変や不安だったこと	選考後に寮が使えないことが判明したので、そこから宿泊先を探すのに苦労しました。それ以外は特にありません。

留学中のお気に入りの写真



コメント：淡水の夕焼け。バイオリンを弾いている人もいて雰囲気最高でした。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：国防医学院（台湾）

Q. 今回の留学 プログラムの感想

現地の学生も先生もとても温かったです。ほとんどの実習は我々向けに準備してくださったものでした。私は家庭医学と中医学を選択し、家庭医学では分院の療養型施設やデイサービスの見学ができました。中医学は外来の見学だけでなく漢方の試食や鍼体験など、貴重な経験をすることができました。選択した実習以外にもシュミレーターを用いた実習など、たくさん学びのある2週間だったと思います。勉強以外にも、実習後や土日は現地学生が毎日のように観光やご飯に連れて行ってくださり台湾を楽しむことができました。担当してくれた現地学生は皆英語が堪能かつ優秀でとても良い刺激になりました。

Q. 健康管理や 危機管理について

現地学生がたくさん観光に連れて行ってくれるので、良い意味で常時睡眠不足でした。ただ、寮が大学に近いため隙間時間で寝ることもでき、食事もおいしいので、2週間元気に過ごすことができました。

Q. 今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

国防医学院は医科歯科生12人で行くことができ、空港への送り迎えなど現地の方が常時気にかけてくださるので、心配することはほとんどなく実習や観光を行うことができました。留学に行きたいけど英語や海外での生活に不安がある方などにもおすすめです。ぜひ国防医学院を留学先に検討してみてください！

Q. 留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと

英語が苦手なので、言語面でトラブルや問題が起こらないか不安でした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：現地学生に連れて行ってもらって食べた魯肉飯です！美味しかったです！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：国防医学院（台湾）

Q. 今回の留学プログラムの感想	実習は、週の前半が医科歯科の学生全体で行うもので、週の後半が自分が選択した診療科で行うものという構成でした。医科歯科の学生全体で行うものに関しては、国防の特徴的な内容であったり、最先端のAIを用いた研究など幅広く充実した内容でした。診療科は、私は小児科と救急科を選択したのですが、外来では台湾語でのやりとりがほとんどでしたが、ついてくださるNDMCの学生や先生自ら英語に訳してくださったので大変助かりました。日本の大学病院とは異なり、紹介状なく患者さんが気軽に来院しており、患者数が多いのもあって、臨床実習の学生が日本でいう研修医のように診療に参加していたのが印象的でした。英語での講義は少し大変ですが、実際に手を動かして手技を学ぶ時間も多く用意してくださっているのでバランスよく学べました。また、今回の留学で一番感じたのはNDMCの学生のあたたかさです。彼らも自分たちの予定があり忙しいはずなのに、何から何まで優しくお世話をしてくださり感動しました。おかげで拙いながらもなんとかして英語でコミュニケーションを取ろうと自分の英語力も少しは上達したように思います。
Q. 健康管理や危機管理について	バスをよく使うのですが、日本に比べると運転が少し荒いので注意するといいかもしれません。治安については心配しなくて大丈夫だと思います。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	国防医学院では現地の学生や先生が信じられないほど手厚くサポートしてくださるので、海外に慣れていない人や英語に少し不安がある人でも問題なく参加できると思います。実習の面でもTMDUのためにスケジュールが組んであるため、日本との医療の違いを肌で感じることができますし、現地の学生も先生も英語が堪能なため質問をすれば丁寧に教えてくれます。放課後・休日にはこちらの希望を聞きつつ、おすすめの場所に連れて行ってくれます。実習のない時間もとても充実しており、虚無な時間は全くありませんでした。医科歯科生が12人で派遣されるのでそこも安心感がありました。海外に興味はあるけれど慣れていなくて不安な方はぜひお勧めします！！
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前など大変や不安だったこと	海外で2週間も過ごすのは初めてだったので心配でした。また、英語でのコミュニケーションもうまく取れるのか不安でした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：夜の九份、赤い提灯が美しい台湾らしい街並みです。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：台湾国防医学院（台湾）

Q. 今回の留学 プログラムの感想

台湾の人がとても親日的で驚きました。先生が冗談で、台湾人の5人に1人が今日日本にいて、残りの4人は日本への旅行を計画しているとおっしゃっていましたが、それくらい日本に対する気持ちが強いような印象を受けました。そのためか現地の学生も日本語に興味を持っており、台湾の良いところを存分に紹介してくれました。実習の内容は中医学など日本ではなかなか深く学べない分野について学ぶことができ、分院への実習でデイケアを見学することができるなど、台湾ならではの医療の現場を見ることができました。街並みも日本とは異なり新鮮で、歴史を感じる建物が多く、一方で日本のお店も多くみられたので楽しかったです。

Q. 健康管理や 危機管理について

部屋が乾燥していたので寝るときにはマスクをいれて寝ていました。学生のICカードが見当たらなくなった学生もいたので、どこに貴重品を入れておくかは二週間の間、かならず決めておいたほうが良いと思います。

Q. 今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

国試の勉強をする時間は全くありませんでしたが、台湾の文化や食事を存分に楽しむことができ、また台湾に行くときには連絡を取り合える知り合いを多く作ることができました。寮生活は4人部屋で、例えばマットレスやカーテンがないところもあり慣れるまで大変ですが、そこさえ乗り越えれば生活はものすごく充実しています。台湾に興味が少しでもあれば良い経験ができるはずです。

Q. 留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと

奨学金の手続きや保険の手続き、誓約書などの書類関係の準備が想像以上に大変でした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：現地で食べた魯肉飯とマンゴーアイスです！食べ物も美味しかったです！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同